

「菊華と猿」展

― 布が語る秋 ―

秋、出雲は八百万の神々が集う「神在月」を迎え、特別な気配に包まれます。それは、八幡垣睦子の創作にも静かに影響を与え、古裂に宿る折りや気韻を見つめ続け創作を深めてきました。

誰かが纏い、守り、祈った布の記憶は、菊の華やぎと猿のまなざしを通して、秋の季節の中にそっと浮かび上がります。

本展では、新作屏風「猿の連」や大正天皇の襦袢を菊作品とした代表作「綺羅の華」や「風の華」「平成の大遷宮」など菊の永遠性と猿の守護性を重ねた作品群を中心に紹介します。

いにしえから未来へと布がつなぐ「いのちの気配」その静かな語りに触れるひとときをお過ごしください。

出展作品

「猿の連」115×78二曲屏風
 綺羅の華 237×210
 平成の大遷宮 190×165
 寿い松 6連作 207×100
 風の華 233×194
 掛け軸(新作) 165×53 など

※作品は変更することがございます。
 ご了承くださいませ。



「風の華」



「掛け軸」



「平成の大遷宮」



「寿い松 6連作」



「綺羅の華」



ミュージアム カフェ 秋メニュー

お抹茶セット

季節の和菓子付き
 展示コンセプトに合わせた季節の和菓子をお抹茶セットでお楽しみください。

●ショップカフェのみのご利用も可能です。
 受付でお知らせください。



施設案内

ミュージアムショップ

◇館内ミュージアムショップではオリジナルグッズやキットがお求めいただけます。



SNSで最新情報や作品に関する情報を発信しています。いずれかのアカウントをフォローしてお楽しみください。



出雲キルト美術館
 izumo_quilt_museum
 ミュージアムショップ
 museumshop_izumoquilt

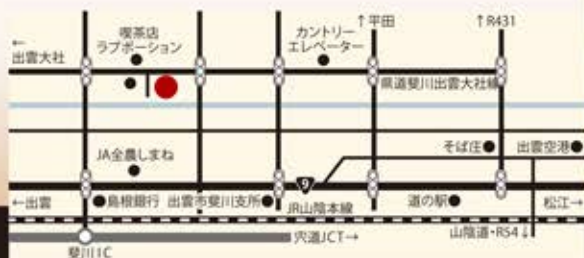


出雲キルト美術館



@quiltmuseum

出雲キルト美術館とは
 豊かな出雲平野に佇む、日本で唯一のキルトの美術館です。築二百年の出雲伝統屋敷を活用した館内では、八幡垣睦子による西洋と東洋の手仕事を融合したテキスタイル作品と共に室礼やインスタレーションを四季折々にご覧いただけます。自然環境や空間全体が作品表現である美術館です。



●出雲空港より約7分 ●斐川ICより約10分 ●JR直江駅より約10分
 ●出雲大社より約25分 ●一畑電車 雲州平田駅より約15分

出雲キルト美術館

The Izumo Museum of Quilt Art

TEL & FAX : 0853-72-7146

〒699-0642 島根県出雲市斐川町福富330

E-mail : izumo.q.m.shop@gmail.com

http://www.yawatagaki.com